



蒲郡市制70周年記念企画展

がまごおりと みかん展

—がまごおりは何故みかんが有名なのか—



令和7年

2月15日土～3月23日日

休館日：月曜日・第3火曜日 祝日は開館

開館時間：10:00～17:00 (入館は16:30まで)

入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号 [蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)]
TEL (0533) 68-1881 FAX (0533) 68-1880 <http://www.gamagori.lg.jp/site/museum/>

がまごおりとみかん展

—がまごおりは何故みかんが有名なのか—



田畑新切帳 (五井村) 延宝7年 (1679)



蒲郡農学校による五井農園の開墾 (五井村) 昭和7年 (1932)

宝飯郡農会発行「柑橘病蟲害一覽表」昭和初期



神ノ郷果樹園芸組合事務所看板

蒲郡の特産品として、市民はもとより全国に広く知られているみかん。蒲郡におけるみかん栽培の歴史は古く、記録では江戸時代の前期までさかのぼることができます。明治時代には「神ノ郷みかん」「西郡みかん」として、近隣では有名でした。戦後、市がみかんを基幹作物に指定すると、昭和37年(1962)に農業構造改善事業が推進されて生産量が急増します。40年代に過剰生産でみかんの価格が暴落すると、ハウスみかん栽培を導入。また、高品質みかんとしてマルチ栽培による「箱入り娘」を誕生させるなど、蒲郡のみかん農家は困難な世相に立ち向かい、今日の蒲郡ブランドを確立していきました。

今回は、蒲郡農学校(現:蒲郡高校)の貴重な資料も展示します。大正2年(1913)、宝飯郡立西部農学校として開校後、昭和46年(1971)3月に農業科が廃止されるまでの間、多くの学生が農業の基礎を学びました。彼らはその後就農し、蒲郡みかん発展の中核を担いました。特に、昭和7年(1932)から開拓がはじまった五井農園では、生産から収穫、販売まで、学生が主体となった農業経営も行われていました。

甘くておいしく、ちょこっとすっぱい、がまごおりとみかんの歴史をぜひご覧ください。

期間中のイベント

ギャラリートーク

令和7年2月23日(日) 13:30~ 特別展示室

●学芸員による展示解説を行います

ひなまつりスタンプ・シールラリー

令和7年2月1日(土)~3月9日(日)

- 会期中、ひなまつりにちなんだ展示を行う県内34館が参加するスタンプラリーです。
- 回った館の数に応じて、3館賞、ブロック賞(6~7館)を差し上げます!
- 館によって開催期間が異なる場合があります。詳しくは各館HPをご参照ください。
- 蒲郡市博物館では、会期中、着物の着付け体験ができます(事前予約不要)。

招き猫の版画をもらおう!

令和7年2月22日(土) 13:00~ 1階エントランスホール

●2月22日(土)は「にゃんにゃんにゃん」で猫の日!

●1階エントランスホールで、江戸時代の版木を使ったメダタイ「招き猫版画」をお配りします。

限定
70部



西部保育園のみかん狩り 昭和56年 (1981)

令和7年

2月15日(土)~3月23日(日)

休館日:月曜日・第3火曜日 祝日は開館

開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号

[蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)]

TEL (0533)68-1881 FAX (0533)68-1880 <http://www.gamagori.lg.jp/site/museum/>



博物館HP

